



Botswana Medical Information



2019年12月

【2019年12月 医療記事抜粋】

●HIV 感染率の低下

大統領はマウンにて行われた世界エイズデーの式典に参加した。

UNAIDS global report 2019 によると、ボツワナの新規感染者は、年間 8500 人（2018 年）で、2013 年の 1 万 3 千人より減少しているが、2020 年の疫学的コントロールの目標を達するためには年間感染者を 75%に押さえないといけない。

AIDS 関連死に関しては、AIDS に対する素晴らしい治療プログラムにより、2010 年に 7300 人に対し、2018 年は 4800 人に減少した。この数値はピーク時の 90 年代初頭には、1 万 8 千人であった。2019 年の UNAIDS 発行の Global report では、90-90-90 のターゲットに関して、最初の 90、HIV とともに暮らす人が HIV の感染状態を知っている割合は 91%、2 つめの 90、HIV 陽性である人が治療を行っている割合は 92%、3 つめの 90、治療を行っている人が、ウイルスが抑制されている状態である人の割合は、96%となっている。次は、95-95-95 を目指すと述べた。さらに、2030 年までに新規 HIV 感染をゼロとすることも目標としている。今年の式典のテーマは、コミュニティに焦点を当てている。

1985 年に最初の HIV の症例がボツワナで認められてからの現在まで、成功と後退の歴史を内省する機会でもある。（2 日デイリーニュース）

● 医療資源の不足：患者の待ち時間について

公立の病院において、重症患者が医師の診察を受けるために、長期間待機しなくてはならない状況であることの認識と対応について、保健省大臣は議会にて質問を受けた。Nyangabwe 病院では、医師の診察予約が 2022 年である患者もいる。質問に対し大臣は、緊急の患者は専門医の待機リストで優先されること、専門医を招集する方策を検討すべきであり、地域の病院をアップグレードする計画があると述べた。（2 日モニター）

●地域在宅型ケア

ロバツエ地区ヘルスマネジメントチーム (Lobatse District Health Management Team) は コミュニティを利用した地域在宅型ケア (Community Home Based Care, CHBC) をうまく活用し、在宅における、緩和ケア、カウンセリング、スピリチュアルケア、開業医による在宅訪問を含めた総合的なケアを行っている。また携わっているボランティアを賞賛した。（10 日デイリーニュース）